平凡の非凡

No. 38

広島市立落合中学校１学年　　3月4日(月)

3月6日･7日は、選抜Ⅱの入試です。先日それぞれの高校の倍率が公表されました。どんな倍率になろうとも、自分の入りたい高校があることが、幸せなことです。

3年生の先輩へ合否がどちらになろうとも、後悔をしない選択をして欲しいですね。さて、学年末のテストを終え、結果がでました。結果をしっかりとふり返り、これからは、1年間の復習を計画を立てて、2年生に向けて学習の取り組みをして行きましょう。

3月　弥生(やよい)　語源由来辞典

弥生（いやおい）が変化したものとされる。「弥（いや）」は、「いよいよ」「ますます」などの意味。「生（おい）」は、「生い茂る」と使われるように草木が芽吹くことを意味する。草木がだんだん芽吹く月であることから、弥生となった。

山の三月　そよ風吹いて　どこかで春が生まれてる

＜百田宗治作詞　「どこかで春が」の一節＞

つい昨年の４月に入学したばかりのみなさん

「一月　住ぬる(いぬる)、二月　逃げる、三月　去る」といいます。流れゆく時の早さにぼやっとしていると、三月までもすぐに行ってしまいそうですね。

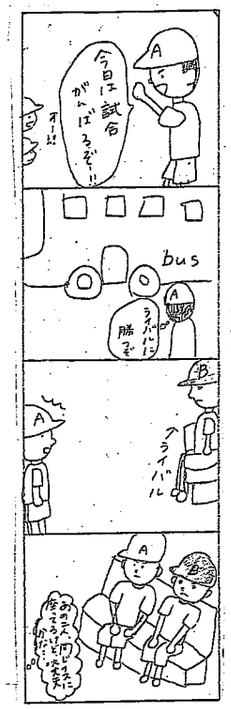
国語の授業で**故事成語**の《4コマ漫画を作ろう》を学習しました。それぞれすばらしい作品が出来上がり、廊下に掲示している中から傑作品をご覧ください。

一、**『朝三暮四　ちょうさんぼし』**　1組　女子

ことば巧みに人をだますこと。目の前の違いに心を奪われて、結果が同じことに気づかいないこと。

二、**『呉越同舟　ごえつどうしゅう』**　2組　女子

仲の悪い者同士が一つの所にいること。



三、**『塞翁が馬　さいおうがうま』**　2組　女子

馬から落ちた人が戦争に行かなくてすんだ。

宇宙のなぞ解きたい

中学生　進藤　哲志　14歳

宇宙政策についての記事に、日本人が月や火星に行くために本番に近い訓練を受けているとのっていて、すごいと思った。

宇宙飛行士の星出彰彦さんは、船外活動やドッキングなどのため、日本人最長記録の21時間23分も宇宙に出ていた。すごい技術や体力だ。

地球以外の惑星では生命は発見されていない。でも、必ずあると信じている。日本人宇宙飛行士にぜひ発見してもらいたいと思う。宇宙はなぞがたくさんあって、とてもきれいで神秘的なので、関心のない人もぜひ興味を持ってほしい。

いつかは僕のように、一般の人でも月に住みたいと思う人が出てくるかもしれない。ぜひ移住ができるようにしてもらいたい。そして、火星へも挑戦してほしい。火星には海があった跡があるので、生物がいるかもしれないと思っている。

ぼくも、宇宙飛行士になって宇宙のたくさんのなぞを解きたいと思う。

（東広島市）

後輩指導 自分も上達

ヤングスポット

中学生　吉村　翔子　14歳

私は、卓球部に所属して日々頑張っています。

特に意識しているのは、自分自身の練習よりも、1年生の指導です。教える内容は、ラケットの構え方や振り方、打ち方などさまざまです。サーブも指導します。

指導する中でうれしいことは、教えたことを1年生が実践して、どんどん上手になっていくことです。ラリーをしても、たくさん続いたら教えがいがあります。

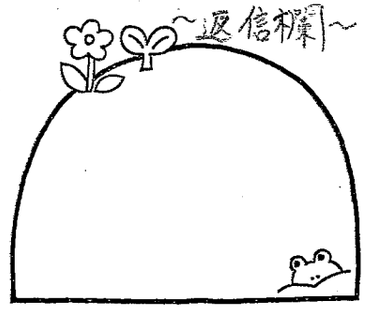
それとは反対に、大変なこともあります。何度教えてもできなかったり、直らなかったりすると、どうすればできるのか、卓球部の仲間たちと相談しながら考えて、工夫していきます。

教えることで、自分の卓球も上手になってきたように思います。

困ることもたくさんあるけれど、これからも、卓球部の仲間と一緒に教えながら、さらに自分も上手になれるように頑張って、チームを強くしていきたいです。

（三次市）

もうすぐ2年生

今週のマア定

日／時	連絡事項	デリバリー
3/ 4(月)	6時間授業	○
5(火)	6時間授業	○
6(水)	選抜Ⅱ　6時間授業	○
7(木)	選抜Ⅱ　予行準備　6時間授業	○
8(金)	卒業式予行(5. 6校時)　6時間授業	○